

報道関係者各位
プレスリリース

2024年4月23日
株式会社 Braveridge

現場のIoT化/DX化を担う“IoT職人”のための治具（ジグ） プロフェッショナル IoT ツール『BraveJIG（ブレイブジグ）』を製品化

株式会社 Braveridge（ブレイブリッジ、本社：福岡県福岡市西区、代表取締役社長 小橋泰成、以下 Braveridge）は、製造現場でのIoT化/DX化を担うIoTプロフェッショナルのためのIoT/DX汎用モジュラーデバイスシリーズ『BraveJIG（ブレイブジグ）』の製品化を、2024年4月23日に発表しました。

4月24日から東京ビッグサイトで開催の『第13回IoTソリューション展 春』に出品します。



※ “IoT職人™”とは？

ビジネスとして現場のIoT化/DX化を推進する事業者を「IoTプロフェッショナル」と定義し、Braveridgeでは敬意を込めて「IoT職人」と呼び、『導入支援パートナー』として連携していきます。

■IoTビジネスに“ちょうどいい”汎用モジュラーデバイス BraveJIG

製造現場のIoT化/DX化を推進する“IoT職人”にとっては、センサーの選定や無線ネットワーク化、安定性の確保など解決すべき課題は非常に多く、その解決には膨大な『時間』を費やすのが実状です。

BraveJIGは、モジュール化された3種のルーター、および無線/有線に対応したセンサー群から必要に合わせて組合せ、オープンソースソフトウェアの「IoT導入支援キット」を使用することで、届いたその日のうちに「見える化」を実現します。



■ここが“ちょうどいい”

●インターネットに繋がずに LoT™(LAN of Things)からスタート、最短で見える化

ルーターモジュールには、ローカルエリアネットワーク向けの Ethernet タイプと、PC に直接接続する USB-C タイプがあり、インターネットを経由しない LoT (LAN of Things) として現場の見える化を届いたその日に実現することが可能です。

また、クラウドを経由する LTE-M タイプを使えば屋外からの IoT 化も実現可能です。



●選べる有線/無線モードで、現場で臨機応変に設置可能

センサーモジュール、ルーターモジュール間の通信には、有線接続・無線接続モードがあります。センサーモジュールにバッテリーモジュールを接続すると無線通信モードに、センサーモジュールとルーターモジュールを通信ケーブルで接続すると有線接続モードとして自動的に機能します。

設置場所での電源の有無や位置関係、センシングの頻度などに応じて簡単に使い分けが可能です。

無線モードで使用すれば、ケーブル引き回しにかかっていた『時間』も圧倒的に短縮できます。

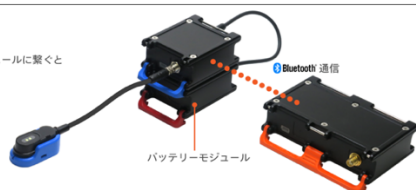
有線接続モード

ルーターモジュールとセンサーモジュールを有線接続
ルータからセンサーに電源を供給
複数センサーのリレー接続も可能



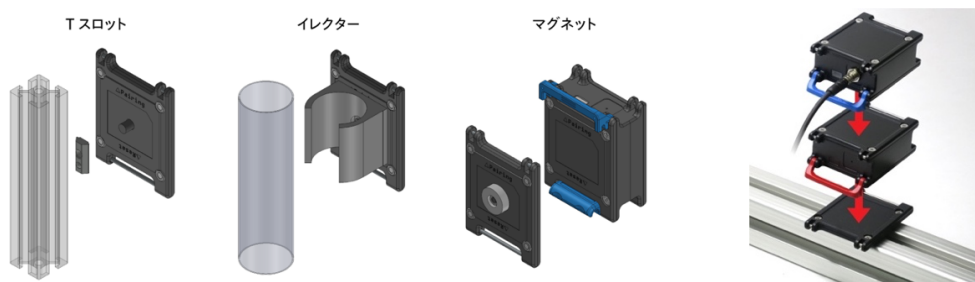
無線接続モード

バッテリーモジュールをセンサーモジュールに繋ぐと
無線接続モードに



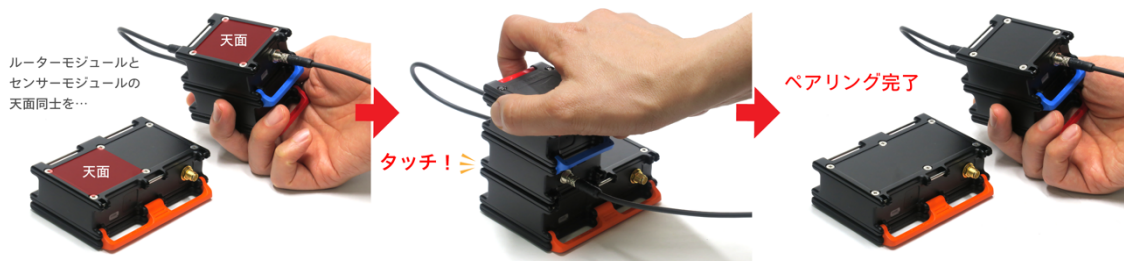
●取付ベースを使って、さまざまな場所に設置、スタックしてワンタッチでロック

設置に使う取付ベースは、T スロットやイレクターなど現場でよく使われる汎用部材にあわせてラインアップ。スタックしてワンタッチでロックできるため設置がかんたんです。防水・防塵仕様のため設置場所も選ばません。移動や変更もかんたんです。



●センサー/ルーター同士をタッチするだけでペアリングが完了、ワイヤレス IoT を実現

センサーモジュールとルーターモジュールは天面同士をタッチするだけでペアリングおよび設定の解除が可能。現場でのネットワーク設定がスピーディに完了します。



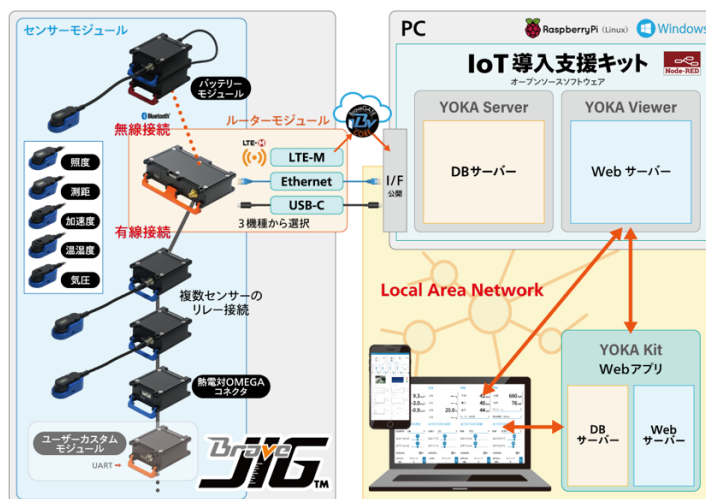
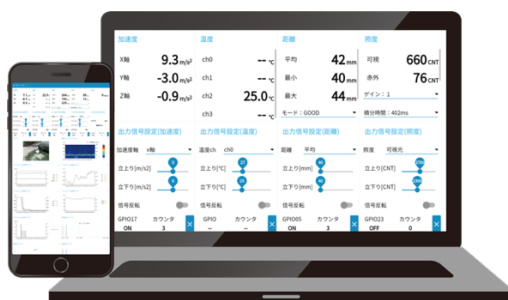
●オープンソースソフトウェア「IoT 導入支援キット」を使って即「見える化」

福岡県工業技術センターが無償で配布するオープンソースソフトウェア「IoT 導入支援キット（以下、本ソフトウェア）」を使って、アプリケーション開発なしで即日 LoT/IoT をはじめることができます。本ソフトウェアには DB サーバー、Web サーバーが組み込まれており、同ソフトを PC にインストールすれば IoT に必要なサーバー構築が完了。クラウド上に IoT サーバーを構築することなく、社内 LAN に接続するだけで IoT を実現します。これにより、IoT 化に要する『時間』を圧倒的に短縮します。LAN 上のサーバーと VPN 接続すれば社外からのモニタリングも可能です。

BraveJIG と IoT 導入支援キットで即日「見える化」まで実現し、さらに現場の要望に合わせて必要に応じ Web アプリを開発、独自のビューを持つこともできます。

また、API を公開するため、DB サーバーや Web サーバーも独自で構築することが可能です。

※本ソフトウェアは、2023 年 11 月に販売開始した『BravePI』でも使用可能です。



■販売開始時期：2024年8月（予定）

■BraveJIG 製品情報サイト

<https://jig.braveridge.com/>

■4月24日から東京ビッグサイトで開催「IoTソリューション展 春」に出展

Braveridge は、2024年4月24日(水)～26日(金)に東京ビッグサイトにて開催される『第13回 IoTソリューション展 春』に出展します。ブースでは『BraveJIG』の実機を展示します。

また、会場では、現場のIoT化/DX化を行うIoTプロフェッショナル（IoT職人）を『導入支援パートナー』として募集いたします。

展示会名	第13回 IoTソリューション展 春
開催日時	2024年4月24日(水)～26日(金) 10:00～18:00（最終日のみ 17:00 終了）
開催場所	東京ビッグサイト 東ホール
小間番号	39-5
来場者登録	https://www.japan-it.jp/spring/ja-jp/register.html?code=0977499166840202-3RN
主催	RX Japan 株式会社

■会社概要

名称：株式会社 Braveridge
代表：代表取締役社長 小橋 泰成
資本金：100,000,000円

所在地：福岡県福岡市西区周船寺 3-27-2
設立：2004年7月
URL：<https://www.braveridge.com/>

Braveridge は、累計 500 万台以上のハードウェアを製造・販売し、数々の IoT 開発に携わってきました。福岡に開発拠点と自社工場を持ち、Bluetooth®LE や LTE-M など無線通信技術を軸に、IoT デバイスの企画・開発・量産・販売までワンストップで行っています。自社製品、自社サービスの提供のみならず、ニーズに合わせた設計開発/製造も可能で、数多くの ODM/OEM、EMS の実績があります。これまでに、『IoT デバイス屋』の目線で徹底的に考え抜いた IoT サービス開発とビジネス化のスピードを飛躍的に加速させるハードウェアとクラウドのプラットフォームを提供。さらに、現場の IoT 化/DX 化を推進する新シリーズ BraveJIG と BravePI を提供開始しました。